

81 旧野川の大橋

歴史的資産



受賞者：なし
 推薦者：松下 祐三 さん

【推薦コメント】

野川緑地公園に野川が流れていた頃の名残。現在は地上に橋が架かる不思議な光景となっている。橋の北には大正14年に橋を改修した時の石碑があり、橋とともに旧野川の流れをと偲ぶものになっている。

【講評】

かつての野川は、小金橋あたりから野川緑地公園に近い流路で現在の狛江市中心部を流れ、そのまま南流し岩戸川（現在の岩戸川緑地公園）及び町田川に接続し、宇奈根付近で多摩川に注いでいました。しかし1967年（昭和42年）になって六郷領用水も川の流路を失わない範囲で大部分が埋められ、野川の流路を東に寄らせる改修が行われた。野川は狛江市に入らずに調布市と狛江市の市境付近に新たに開削されました。下流の野川も入間川との合流点を作り、さらに少し下流のきたみふれあい広場（小田急電鉄喜多見車両基地）付近では旧入間川より数百メートルほど東に野川が開削され、西側の従前の入間川は埋められました。狛江ハイタウン前からきたみふれあい広場までは道路及び遊歩道になっています。現在は地面に橋が架かっているだけのように見えるこの橋を、野川が現在とは違った流路であったことを証明する歴史的な遺構として、高く評価するものです。